



ジルコニアでより美しく自然な歯

日本人の銀歯保有率は、20～60代で70%を超えている。特に40代においては男性76.6%、女性82.9%と極めて高い。これほど多くの銀歯が入っているのは、先進国の中で唯一日本だけと言われている。(3Mヘルスケア社調査)

銀歯は経年劣化による変色、歯肉の黒ずみ、二次カリエスだけでなく、金属アレルギーの問題もある。銀歯は長い間唾液にさらされることで金属イオンとなり溶けだし、血流にのって全身を巡り、様々な金属アレルギー症状を引き起こすと言われている。

さらに貴金属は国際的に投機対象のであり、価格が乱高下する。近年では歯科医を悩ますほど高騰している。こうした中で金属に代わる材料として、ジルコニアが注目されている。



日本経済新聞 2021.5.7

メタルフリー

ジルコニア(二酸化ジルコニウム)は人工ダイヤモンドともいわれ、硬度と美しさを兼ね備えており金属アレルギーの心配もありません。曲げ強度は800～1,300MPaと高く破損しにくく、人体に対する安全性(生体親和性)も高いという特徴が有るため、人工関節にも活用されています。

数年前までは、セラミックのみでブリッジを作るには強度が心配で、金属のフレームにセラミックを焼き付ける(MB)必要がありました。しかし、ジルコニアをフレームに使用することで金属が不必要になりました。



幅広い症例に対応

セラミックと金属のいいこと取りをしたようなジルコニア、可能な歯科治療は多岐にわたります。前歯部・臼歯部のインレー、クラウン、ブリッジ、インプラント上部構造まで幅広い症例にご使用いただけます。



TOYO DENTAL CO.,LTD

Digital Design Center

info@toyo-dental.com

TEL 03-3700-4002

〒158-0097

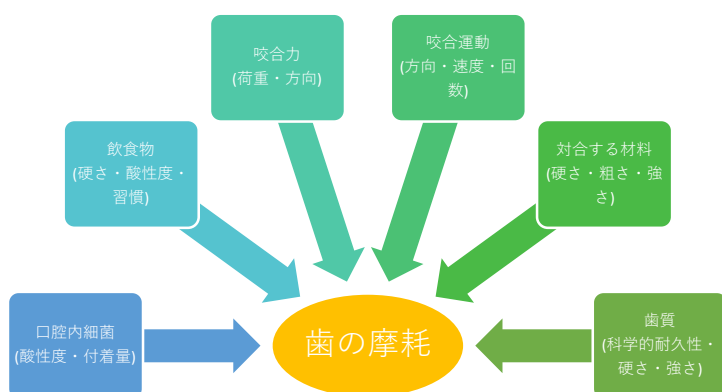
東京都世田谷区用賀2-3-1-1

株式会社 東洋デンタル

ジルコニアは本当に対合歯を摩耗させるのか?!

結論から言うと、**修復物の硬さと摩耗は無関係である!**

歯の摩耗には、咬合部位の咬耗、非咬耗部位の歯ブラシ摩耗、または腐食摩耗に集約される。対合歯の修復物が硬く、表面が粗さが大きい場合に摩耗は激しくなる。



TOYO DENTAL CO.,LTD

Digital Design Center

info@toyo-dental.com

TEL 03-3700-4002

〒158-0097

東京都世田谷区用賀2-3-1-1

株式会社 東洋デンタル